

共用ビームラインの利用料金について

1. 利用経費負担の基本的な考え方

共用ビームラインの利用料金について、原則はSPring-8等の他の国内施設や海外施設と同様に、

- ①成果公開利用・・・原則無償(消耗品実費負担)
- ②成果非公開利用・・・運営費回収方式により利用料金を設定

を基本としている。

2. 利用料金

当面の利用料金については、以下のようになっている。

なお、状況に応じて適宜料金設定について見直しを行う予定である。

(補足)

- ・平成27年度までに所定のビーム強度である1MWに到達する予定。
- ・今後、共用ビームラインが数本増加する見込み。
- ・なお、昨今の電気料金の高騰に留意が必要。

↓見直し予定

年度	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1
ビームライン1日 1本あたり運営費(千円)	2,914	3,193	3,414	3,237	2,936	2,936	2,936	2,936	2,936
利用料金 (千円/1日・本)	1,572	1,729	2,075	2,490	3,243	3,243	3,243	3,243	3,243
対前年度料金増加額 (千円)	0	157	346	415	753	0	0	0	0